

2011. 10. - 5

# 中国・北宋時代の文人 欧陽修

## 未確認の書簡96編発見

又 著 書 年  
 諸領首然皆區區又觸致問中問辱書書為感  
 行已久矣然惟含恨萬福病衰病思得  
 小郡養拙三二年間謀一歸老之地此願  
 未獲遂被責以吏事精力耗竭何止勉強  
 不出於天幸初當在江西矣辭觀於教河  
 東士人民風事可高問得佐幃府其幸  
 為目疾為授臨紙草率惟冀鎮撫外以特  
 為國自重不宜稍番拜河東安撫觀文學  
 士坐前 十七日

與王文公文公  
 猶近見歐陽所作杜子美畫像詩刻題後  
 之辭意義高遠讀之數四不相見多年探  
 決如此豈非切磨之功耶前當日會飲於  
 聚星堂狂醉之間偶爾信筆不經思慮而  
 小爾命意推稱之若是惜而不及也惜願  
 與 韓 門 下  
 猶恐近承有汝法之請方與頰人欣談以  
 俟而遽聞改鎮不審即日尊惟何如情昨  
 過頓以留營視故居雖不敢過分大為制

中国の北宋時代に文人、政治家として活躍した欧陽修（1007～1072年）の未確認の書簡96編を九州大大学院（福岡市）の東英寿教授が発見したことが4日、分かった。書簡は天理大付属天理図書館（奈良県）所蔵の全集「欧陽文忠公集」に収録されている。

天理大付属天理図書館所蔵の全集「欧陽文忠公集」に収録されている、新たに発見された欧陽修の書簡のコピー（九州大大学院の東英寿教授提供）

## 九大教授、天理大所蔵全集から

欧陽修は中国の文章を改革する「古文運動」を行つたことなどで知られる歴史上の著名人。東教授は「千年の時を経て、中国の偉人の書簡が日本で新たに見つかる」と驚きだ」と話している。

全集は欧陽修の死後に編集され、1196年に初刊本が木版で印刷された。天理大の全集は13世紀に鎌倉幕府の書庫・金沢文庫に収蔵するため中国で買い付けられて日本に渡つたもので、国書に指定されている。

東教授は、今回発見された書簡は新たに印刷する時に付け加えられたものだと推測している。

内容は北宋の政治家・王安石（1021～1086年）ら友人に宛てた身の上話や礼状など。親しい友人への書簡では欧陽修が監督を務めた役人任用試験・科挙で、分かりやすい文章を書いた者に良い成績を与えた裏話も打ち明けている。

東教授が木版技術の研究のため、天理大の全集と同じ内容と考えられていた中国・北京の中国国家図書館と宮内庁で所蔵される全集を比較。明時代（14世紀以降）に再編集され、現在は決定版とされている全集にも載っていない96編を発見した。

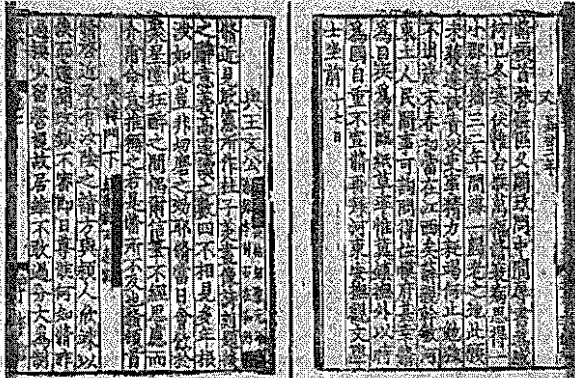
2011. 10. - 5

北宋時代の偉人・欧陽修

# 未確認の書簡96編

## 九大大学院・東教授が発見

中国の北宋時代に文（1072年）の未確認の書簡96編を九州大  
人、政治家として活躍 認の書簡96編を九州大  
した欧陽修（1007）大学院（福岡市）の東



天理大付属天理図書館所蔵の全集「欧陽文忠公集」に収録されている、新たに発見された欧陽修の書簡のコピー（九州大大学院の東英寿教授提供）

刷された。天理大の全集は13世紀に鎌倉幕府の書庫・金沢文庫に収蔵するため中国で買い付けられて日本に渡ったもので、国宝に指定されている。

東教授は、今回発見された書簡は新たに印刷する時に付け加えられたものだと推測している。

欧陽修は中国の文章を改革する「古文運動」を行なったことなどで知られる歴史上の著名人。東教授は「千年の時を経て、中国の偉人の書簡が日本で新たに見つかるのは驚きだ」と話している。

全集は欧陽修の死後に編集され、1196年に初刊本が木版で印る。

内容は北宋の政治家・王安石（1021～1086年）ら友人に宛てた身の上話や礼状など。親しい友人への書簡では欧陽修が監督を務めた役人任用試験・科挙で、分かりやすい文章を書いた者に良い成績を与えた裏話も打ち明けている。